

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リトルジェム2nd					公表日	2025年 3月 14日
	チェック項目	①はい	②どちらともいえない	③いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		①広すぎると目が届きにくくなるので、ちょうどいいと思う。戶外活動を活用している。 ①必要に応じてパーテーションを使い、空間を分ける工夫をしている。 ②粗大運動やボール等を使用する際にやや狭いと感じることはあるが、トランポリンやボルダリング・野外活動を増やし補うことができている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		①送迎時などは一時的に職員が外へ出るが、活動中は十分な人数を配置している。 ①子どもに対してマンツーマンに近い環境で、子どもと接する機会と時間も多い。 ①ほぼ1対1で関わられるようになっているので、手厚く見守れる。	①夕方の帰りの会で大変なメンバーの時は1人補助でついて欲しい。 ②職員の人数がいても、他の業務などで実際に子どもに対する人数が手薄になることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		①机の配置やパーテーションの利用などで適宜配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			①毎朝の清掃で清潔に保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			①パーテーション等も必要に応じて利用出来ていると思う。 ①パーテーションの利用やカムダウンルームなどその都度必要に応じて促している。 ①カムダウンルームを有効活用されている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		①朝礼で意見を交換できている。 ①朝礼や支援会議等で議論されている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			①毎年、いただいた評価表はまとめてHPで公開し、改善に繋げている。 ①職員間で情報が共有されている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			①朝礼や支援会議等で、頻繁に意見交換できている。 ①話しやすい環境にあり、朝礼等で議論し改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		①外部での研修は、職員間で共有している。 ①業務に関わる資料やVTR等を活用している。	②正社員の研修はよく設けてある。パート職員でも参加できる研修があれば、勉強のため機会があれば参加したい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			①支援プログラムに応じた活動が毎回行われている。 ①情報が公表・共有され、支援に生かされている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			①モニタリングでも親身になって聞いてくださっているため、どれもその子に合った内容だと思う。 ①モニタリングをはじめ、面談等で保護者・子どものニーズや課題の把握に務めている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		①朝礼で共有がよくできているので、一人一人の課題も知ることができている。 ①支援会議で意見を出し合い、共通理解に努めている。 ①原案も共有され、検討が加えられている。 ①支援会議やふせん会議等で意見交換ができている。 ①朝礼だけでなく、通常業務の中でも支援に関わる内容は児童発達支援管理責任者を中心に話し合いができている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			①常に確認でき、支援に生かされている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			①半年に1回、モニタリングの際にTASPを利用している。 ①支援会議等で日々の行動を確認し合い、分析している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			①全ての項目で詳しく支援内容を設定している。 ①全ての項目についてより具体的な支援内容が設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2		①どの職員でも立案し、実際に活動に反映させている。 ①リーダーを中心に立案し、職員間で共有している。	②活動内容の共有はできているが、立案は正社員が1人で担っていることが多い。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			①季節の行事はなるべく取り入れるようにしている。 ②固定しないように毎月違うプログラムを進めている。 ③長期計画の中で検討・工夫されている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		①個々に応じた対応で支援を行っている。 ②1人用の机があると、さらに充実した個別活動が行えると思う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		①毎朝の朝礼で必ず確認している。 ②毎朝の朝礼やその記録により周知徹底を行っている。 ③出勤時間やパート職員の休みなどで分からない部分が出てくるが、その部分を記録して連携する努力はされている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		③送迎があるため当日の振り返りはできないが、紙面に記録して共有している。 ④出勤時間やパート職員の休みなどで分からない部分が出てくるが、その部分を記録して連携する努力はされている。 ⑤最近のことや前日のことを振り返る朝礼が兼ねている。 ⑥支援終了後は送迎等もあり、全体での打ち合わせはできないが、次の日の朝礼時等、支援開始前には気付いた点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			①毎日の朝礼での引継ぎを記録して、いつでも見られるようにしている。 ②ケア記録を印刷して情報の共有化の中で、検証・改善に繋げている。 ③朝礼の内容や支援会議の記録を取り、休みの職員にも共有できるように工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			①半年に1度のモニタリングに加え、必要に応じてその都度面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			①児童発達支援管理責任者が他職員の意見をまとめた上で、参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			①必要に応じて実施。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		①情報提供書を提供している。必要に応じて連絡を取り合っている。 ②就学支援の一環としてシートを作成し、小学校見学職員が同行している。積極的に保育所等の訪問を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			①小学校見学への同行、就学支援シートの提供をしている。 ②支援シートや小学校訪問、見学時のやり取り。 ③1月より保育所等訪問事業を開始しており、今後更なる情報共有と相互理解が図れるよう工夫されている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	2		②保育所等との交流はないが、図書館や公園での関わりがあることはある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				①その日の活動記録をHUGで伝え、電話や面談等で伝え合っている。 ②その日の活動状況や課題等を伝え、共通理解に努めている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5			②ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者会はある。 ③参加する家庭が固定になっている気がする。 ④家族等の参加できる相談機会は設けているが、小学校の先生やドクターを招いての研修などがあると、さらに家族の疑問や不安が取り除けるのではないかとと思う。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8					
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			①定期的な面談などでよく聞いてくださっているように感じる。 ③随時、電話や面談で助言等の支援を行っている。 ④モニタリング、面談、担当者会議等で行っている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8				①兄弟児も参加可能な交流の場を年に2回ほど設けている。 ④立田山や公民館等で家族も参加・交流する機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				①管理者、児童発達支援管理責任者を中心に、TELやメール等での相談に応じ、その旨を指導員にも共有できていることが多い。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	2			①HUGの活動記録で発信している。 ④通信を印刷して渡したり、SNS等で情報を発信している。	②SNS等はあまり活用していないため、事業所を調べる人が気軽にHP等を見てどんな所か知れたいと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8					
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8					
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2	6			②事業所に招待はしていないが、散歩や地域の行事に参加することで、地域とのコミュニケーションが図れている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2			①各種マニュアルやフローチャートを活用し、各種避難訓練を行っている。 ②家族に周知できているかは分からない。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3			②各種マニュアルやフローチャートを活用し、各種避難訓練を行っている。	②定期的な避難訓練は行っているが、避難用バッグや備蓄など職員同士で共有できていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	2			①服薬とてんかん発作の有無については確認している。 ④予防接種は確認していない。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	2			③指示書はいただいております、アセスメントの際に伺っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2				②救命講習など定期的に受講し、非常時に動けるように備えたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	3		①安全計画に記載している訓練等を行ったときには、HUGを通じて、保護者全員に周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8					
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1			①全職員が虐待防止に関する研修を受けている。 ④虐待防止に特化した研修も行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8				①必要な場合は了承を得て、個別支援計画に記載している。 ④必要に応じて検討し、支援計画に記載している。		